



学校だより

校長 杉村 幸恵



七一〇名の子供たちみんなで、 学校を楽しんでいます

四月七日に無事令和八年度の入学式を終え、八九名の元気な新入生が下田小学校の仲間になりました。

大勢のお客様と保護者の皆様、そして最高学年の六年生に見守られ、初々しい姿で式に臨んだ一年生。呼ばれた名前に「はい!」としっかりした声で返事をしたり、お客様からの「おめでとうございます。」「呼びかけに「ありがとうございます。」「と上手に応えたりする様子に、思わず顔がほころびました。

六年生からは、「わたしたちは、六年生として皆さんを支えます。わからないことや困ったことがあったら、いつでも声をかけてください。いつでも相談してください。私たちと一緒に、笑顔いっぱい学校にいきましょう。」と力強く頼もしい言葉のプレゼントがありました。

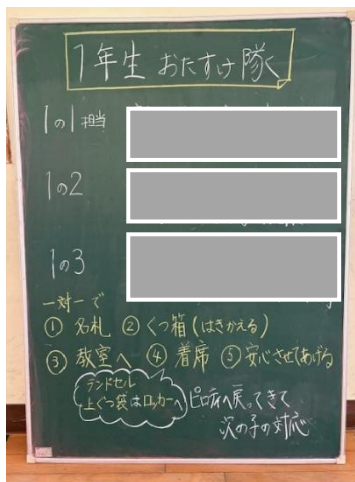
本年度は、総児童数七一〇名、五二名の教職員(本日現在)、四名の支援員の先生方やスクールサポートスタッフの方々とスタートさせていきます。その他にも、随時非常勤で世話になる先生方もおられます。どうぞよろしくお願いいたします。

上の写真は、入学式当日、入学式受付付近に置かれていた小さな黒板です。



『一年生おたすけ隊』と書かれ、初登校後の一年生のお友達にとって、どのようなおたすけがあると安心して教室に行けるかということが示してあります。

早速子供たちは一年教室に向き、優しく対応し、すべきことが終わると大急ぎで教室に戻っていきました。本校の最高学年として自覚をもち、入学式の言葉を体現



しようとしている様子がうかがえます。

お世話してもらった一年生も少しはにかんだ様子を見せながらも、嬉しそうに「ありがとうございます。」と伝えている様子もありました。

今日は、この通り。(↓)きちんと座って、お話を聞いています。少しずつ小学校での生活に慣れている様子が嬉しく思います。

小さな積み重ねを大きな力に!

他の学年でも、少しずつ学級での学習が始まっています。

ある学年では、話を聞くときのルールについて話をしています。また、ある学級では、ノート書き方についての指導が行われています。また、ある学級では、下敷きを使って字を書くことを話しています。また、運動場の使い方について指導をしている学級もあります。また、別の学級では、友だち同士の言葉遣いについての話をしています。下の写真は、教室での水筒の置き方について話を聞いた一年生の学級の、水筒置き場の様子です。整然と水筒が並んでいます。ある学級は、廊下を少し進んでは立ち止まり、少し進んでは立ち止まりしながら、なぜ止まったのかを子供たちと共に考えています。

そんな細かなことを...と思われるかもしれませんが、大勢が同じ空間で過ごす中においては、皆が心地よく安心して生活するために大切にしたいルールやマナーがあります。それらは学校全体で意識をして同じ指導をしていくことが必要です。学習においても同じです。しっかりと学び、できることを増やしていくためには、小さな積み重ねが大きな結果となって現れていきます。「今日はこれができるようになったよ!」子供たちからそんな声が聞かれることを期待しています。

●乗降所御利用に関するお願い●

本校正門前は狭い道路ですが本校の八割以上の児童がこの道を通って登校してきます。路側帯もありますが、八時〜八時一〇分までは特に多くの児童が登校してきます。住民の方の生活道路でもあり、乗降所に入る車との対向に苦慮されることや、車と車の間で児童が立ち往生することもあり、ひやりとする場面もあります。そこで、**お車でお子様を送って来られる場合は、八時一五分以降にしていただけと助かります。**児童の安全確保のため、御理解と御理解をよろしく願います。

